

## 2 企 画 展

展 覧 会 名	会期(月・日)	入場者名
中村彝、中原悌二郎と友人たち	4. 8～ 5. 7	4,470
日本画抒情名作展	5. 13～ 6. 11	6,569
日本的フォーヴィズムの一断面	7. 1～ 8. 6	4,602
フランスガラス工芸の巨匠ルネ・ラリック展	8. 12～ 9. 17	10,235
抽象彫刻の旗手たち	9. 30～ 11. 5	3,651
第三回具象絵画ビエンナーレ	11. 11～ 12. 10	5,198
浮世絵 100年の系譜	2. 10～ 3. 18	8,532

企画展入場者数 43,257人

(有料 38,948人 無料 4,309人)

## 第4節 調査研究事業

各種の研修会ならびに協議会等に出席し、多岐にわたる調査研究をすすめながら、成果の蓄積と館の機能の充実を図った。その項目および概要は次のとおりである。

### 1 研究項目

- ① 作家 ② 作品 ③ 技法 ④ 美術史  
 ⑤ 保存 ⑥ 教育普及 ⑦ 展覧会 ⑧ 運営  
 ⑨ 県内外の展示施設 ⑩ 美術館利用者の動向 他

## 第5節 普及事業

美術の表現と鑑賞のよろこびをより深めるために、さまざまな視点による事業を行った。その概要は次のとおりである。

### 1 講演会の開催

#### (1) 定期講演会

「色と文化—画家と色彩」 9月15日(60人入場)

講師 赤穴 宏 武蔵野美術大学教授

#### (2) 企画展講演会

「中村彝、中原悌二郎と友人たち」

4月23日(110人入場)

講師 匠 秀夫 茨城県近代美術館長

#### (3) 企画展公開シンポジウム

「現代彫刻の可能性」 10月15日(100人入場)

司会 三木 多門 国立国際美術館長

パネラー 飯田 善国 彫刻家

多田 美波 彫刻家

最上 壽之 彫刻家

岡崎乾二郎 彫刻家

### 2 映画会の開催

毎月1回、日曜日に実施し、午前・午後の2回上映した。

- ① 「星の王子さま」 4月16日(250人入場)

#### ② 「ブラザーサン シスタームーン」

5月21日(200人入場)

#### ③ 「メトロポリス」

6月11日(220人入場)

#### ④ 「海底二万哩」

7月29日(300人入場)

#### ⑤ 「アンドロメダ」

8月27日(250人入場)

#### ⑥ 「博士の異常な愛情」

9月24日(150人入場)

#### ⑦ 「巴里のアメリカ人」

10月15日(230人入場)

#### ⑧ 「五つの銅貨」

11月12日(170人入場)

#### ⑨ 「赤い殺意」

12月10日(200人入場)

#### ⑩ 「日本列島」

1月28日(200人入場)

#### ⑪ 「マルチニクの少年」

2月19日(170人入場)

#### ⑫ 「キリマンジェロの雪」

3月11日(220人入場)

## 3 実技講座の開催

### (1) 親と子の美術教室 一小学生と保護者12組程度対象—1日コース

講座名	木や紙でつくって遊ぼう	年賀状版画を作ろう
内 容	紙や木の工作	各種版画の技法
期 日	6月11日	11月23日
講 師	佐久間 敬 (福島大学助教授)	

### (2) 実 技 教 室 一般初心者対象17名程度—

#### ① 5週連続コース

講座名	デッサン教室	彫 塑 教 室	油 絵 教 室	木版画教室
内 容	デッサン基礎	头像の制作	人物を描く	多様な技法
期 日	5月7日～ 6月4日の 各日曜日	8月27日～ 9月24日の 各日曜日	11月12日～ 12月10日の 各日曜日	2月11日～ 3月11日の 各日曜日
講 師	久家 三夫 県立博物館 主任学芸員	青木 良仁 安達女子高 教諭	梅宮 英亮 福島大学 助教授	柴田 義一 版画家 福島市在住

#### ② 1日コース

講座名	デコーパージュ	七宝焼教室	七宝焼教室
内 容	切り抜いた絵や 模様を塗る手工 芸	(初級)	(中級)
期 日	10月1日	1月21日	3月18日
講 師	片山 邦子 福島女子短大 助教授	林王 昭 県立美術館 学芸員	清野 美智子 七宝作家 会津若松市在住

#### ③ 公開制作

講座名	民族楽器をつくる
期 日	10月28日～29日の1日半
講 師	関根 秀樹 (民族楽器研究家)